

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

TICAD V 学生プロジェクト アフリカと日本の将来に向けた若者の可能性

独立行政法人 国際協力機構（JICA）は TICAD V 学生プロジェクトと共催し、5月31日17時30分より、インターコンチネンタルホテルにて、「アフリカと日本の将来に向けた若者の可能性」をテーマにサイドイベントを開催しました。リチャード・ディクタス国連ボランティア計画（UNV）事務局長、国連大学（UNU）シニア・アカデミックオフィサーのオビジオフォー・アギナム氏、TICAD V 学生プロジェクト共同代表の辻愛麻と前田実咲が登壇しました。国際協力機構（JICA）からは、冒頭、黒川恒男理事が主催者挨拶として登壇し、TICAD プロセスで今回初めてユースが注目された点、そして多くの可能性を持つユースへの支援を公共機関及び国際機関等から今後も継続することの重要性について言及しました。

このサイドイベントでは、3月に開催された『日本・アフリカ学生サミット』で採択された提言文書を参加者で共有。特に「交流」と「平和教育」の2つの分野に着目し、ユースが果たす役割について議論を展開しました。

UNU のオビジオフォー・アギナム氏からは平和教育の重要性、ユースの関わりの可能性について、UNV リチャード・ディクタス事務局長からはボランティアという視点から、ユースの実施主体としての可能性と意義について、それぞれ発言がありました。TICAD V 学生プロジェクト辻愛麻からは、同プロジェクトの今後の活動の方向性や内容の具現化について、これまでの成果と絡めつつ発表しました。

今回のイベントを通じ、新たな時代に向け、発信主体としてのユース、そして実施主体としてのユースの役割の重要性が確認されました。こうした議論が、将来的には各国の政策に取り入れられていくことが期待されます。JICA は今後とも、新たな時代を担うユースの活動を支援していきます。

また、イベント後半には、アトラクションとして、ウガンダの青年海外協力隊員とその生徒らとミュージシャンのカズンが1年間の交流を経て、共同制作された「ザ・パール・オブ・アフリカ」が披露されました。

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

■本イベントの登壇者

【パネリスト】

- ・リチャード・ディクタス 国連ボランティア計画（UNV）事務局長
- ・オビジオフォー・アギナム 国連大学（UNU）シニア・アカデミックオフィサー
- ・辻愛麻 TICAD V 学生プロジェクト共同代表

【スピーカー】

- ・黒川恒男 JICA 理事
- ・前田実咲 TICAD V 学生プロジェクト共同代表

【モデレーター】

- ・岡村みどり TICAD V 学生プロジェクト

リンク

<http://ticad5stu.weebly.com/index.html>